

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

梅雨の時期を迎え過ぎ辛い日々が続いておりますが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、愛知県議会は今月18日より6月定例議会が始まりましたが、議会冒頭の知事提案説明において、県政を取り巻く最近の状況についても説明があり、その中で本県は製造品出荷額等が40年連続で日本一という圧倒的な産業集積を誇っておりますが、先般公表された平成27年度の都道府県別GDPでも、初めて本県のGDPが大阪府を抜いて全国2位となった事が報告されました。

その背景には、今回から国際標準に合わせて、企業の研究開発費を含めて算出された結果ではありますが、本県の製造業が付加価値を大いに生み出している事を改めて証明するものであり、今後も産業立県「あいち」の更なる発展に向け、微力ではありますが頑張っております。

なお、昨年の衆議院議員選挙を切っ掛けとし、私たち地方議員の政治基盤となる国政政党の動きは未だ混迷を深めていますが、こうした状況の中で、県内では政党の枠を超え地域に根差した政策の実現を目指し「新政あいち」が設立され、この動きに連動し県議会内会派も「民進党愛知県議員団」から「新政あいち県議団」へと本年2月に移行しました。

また、平成30年度の役員改選の結果、高橋正子議員（一宮市選出）が新団長に就任され、私は団長からの指名により政策調査会長に就任いたしました。政策調査会長の主な職務は、県に対する政策提言の取りまとめと会派活動のPRとなりますので、県が抱える諸課題に対する積極的な提言活動に努めると共に、県民の皆様への団としての活動を広くPRして参りますので、引き続きのご支援・ご指導を宜しくお願い申し上げます。



愛知県議会議員

こ た ま よ し か ず

樹神 義和 